

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

<先週の説教から>

『ルカ ④ — 12 弟子を選ばれる!』

武田真治牧師

イザヤ書 43:8~12 ルカ福音書 6:12~16

今日の箇所は、イエス様が「弟子」の中から12人の「使徒」を選ばれた出来事が記されています。即ち「そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。朝になると弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。」です。ここからも分かるようにイエス様はわざわざ弟子たちを寄せ集め、その上で12人を選ばれています。いわば、弟子たちの代表と言い得ます。この12人がペンテコステの時に生まれた教会の中心メンバーとなりました。故に、このイエス様の選びは、ご自分が去った後の“教会”を運営していく者たちを選ばれたということです。このような事をなされたイエス様の御思いはどこにあったのでしょうか？

勿論、イエス様の御考えが分かるわけではありませんが、少なくとも、イエス様のお考えの中には、ご自分の後を継ぐ誰か一人の指導者を立て、すべてを引き継ぐという思いはなかったということであり、教会の歩みは、みんなで話し合っ運営していくことを示されたのでしょう。この“12”という数字も、旧約聖書にある12部族連合に倣われたのでしょう。イスラエル民族の進むべき道を12の部族長が協議して決めて行った歴史があるからです。故に、現在の教会も長老たちを選び、牧師も長老の一人として協議する形となっているのです。

その上で思いますのは、どんな基準でイエス様がこの使徒たちを選ばれたのだろうかという点です。今日の箇所には何も触れられてはいません。この点は、逆に選ばれた側のひとり一人を見ていくことで分かるかも知れません。選ばれた12人の最初の4人「ペトロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネ」はこの後、よく登場して来る人物達ですが、決して間違いを起こさない理想的な弟子ではありません。むしろ、イエス様を困らせることも多く、最後はまさにペトロに代表されるように、十字架を前にしてイエス様を置いてみんな逃げてしまったのです。次に続く人たちの中にも「フィリポ」や「トマス」等もヨハネ福音書を読むと欠けの多い者たちでした。そして何より「イス

カリオテのユダ」はお金でイエス様を裏切る人物です。以上のように、この12人には特別な良点や強い根拠を見つけることが出来ないようです。ただ、最初からイエス様に従って来た人々たちではありません。むしろ、その上で様々な人々たちを選ばれたと言い得るのではないかと思います。

実は、それよりも大事な点はこの12人を選ばれるに際して、イエス様が「神に祈って夜を明かされた」と書かれている点ではないかと思えます。ひとつには、人を選ぶということの重大さを表していると言い得ます。更には、これらの弟子たちがいつか自分を捨ててしまう、裏切ってしまうことを分かっていた上で「選ばれた」ことも示しているのではないかともし言えます。それでも、選ばれ、そしてご自分からは決して「見放さない・愛され抜く」ことを定められた“祈り”なのでなかったかと。私たちひとり一人もそのようにして招き、そして愛して下さっているのではないのでしょうか。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 5月28日(水) 20:00
II. 5月29日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈祷主題: 埼玉地区を覚えて

担当者: (水) 岩井 (木) 高橋

祈りに覚える人: 新元 西尾

*ひつじ雲の会 5月26日(月) 10:00~

【教勢報告】

主日礼拝 男19 女49 計68(大人)
祈祷会 I. 男 女 計 休会 II. 男1 女8 計9
日曜学校 幼稚科4 小中科4 計8

【次週主日礼拝】 6月1日(日)

聖書: 詩編 103:1~5

ルカによる福音書 6:17~21

説教: 「ルカ④—幸せを見つけるために!」

武田真治牧師

讚美歌: 472(1)、32、356、149、474、

【次週当番表】 75(1~2)、91(1)

司式: 齋藤長老 奏楽: 須田 礼拝: 保坂長老

配餐: 飯田 茨木 岩佐 金刺 各長老

献金: 喜嶋/木村 受付: 西尾 森本

会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田

看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・会堂管理委員会 ・長老会

2025年 5月 25日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>